

# Development and testing of the family structure and family functions scale for parents providing adolescent reproductive health based on the Friedman family assessment model

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2018-01-10 キーワード: 作成者: タントウット, スサント, Tantut, Susanto メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2297/00049692">http://hdl.handle.net/2297/00049692</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



平成 29 年 8 月 21 日

## 博士 論文審査結果報告書

報告番号 \_\_\_\_\_

学籍番号 1429022031 \_\_\_\_\_

氏 名 Tantut Susanto \_\_\_\_\_

論文審査員

主 査 (職名) 中谷 壽男 (教授) \_\_\_\_\_ 印

副 査 (職名) 津田 朗子 (教授) \_\_\_\_\_ 印

副 査 (職名) 須釜 淳子 (教授) \_\_\_\_\_ 印

論文題名 Development and testing of the family structure and family functions scale for parents providing adolescent reproductive health based on the Freidman Family Assessment Model (フリードマン家族アセスメントモデルに基づく青年期にリプロダクティブ・ヘルスを提供する親の家族構造と機能評価尺度の開発と検証)

論文審査結果 (論文内容の要旨及び審査結果の要旨 : 1000字以内で記入)

### 【論文内容の要旨】

本研究の目的は、フリードマン家族アセスメントモデルに基づきインドネシアの青年期の子どものリプロダクティブ・ヘルスを育成する家族構造と機能を提供する親の能力を測定する尺度開発とその信頼性と妥当性を検証することである。尺度開発の方法に則り、82項目からなる原案が作成された。その後、ランダムクラスター抽出した中学校120校に通学する生徒の親に調査用紙を1040部配布し、回収された845部から高卒以上の学歴を有する親の回答525部を対象に信頼性と妥当性の検証を行った。その結果、開発された尺度は9因子26項目構造となり、尺度として許容できるモデル適合度を示した(GFI=0.90, AGFI=0.90, RMSEA=0.06)。また、尺度全体のCronbach's alphaは0.70であった。

### 【審査結果の要旨】

本研究は、青年期の発達課題のひとつであるリプロダクティブ・ヘルスに焦点を絞り、インドネシア固有の文化背景の中で、親がいかに関与するかその方策を提案するものである。フリードマン家族アセスメントモデルを基盤として尺度開発の方法論に則り行われた研究として評価される。発表は、初めて聴く人に配慮した、わかりやすいものであった。また、質疑応答において、対象者の妥当性、尺度の今後の応用について質問されたが、的確に回答していた。

以上、学位請求者は本論文の論文審査及び最終試験の状況に基づき、博士(保健学)の学位を授与するに値すると評価する。